

例外処理グループを用いてシナリオを停止するサンプルシナリオ

現在、Manager on Cloud (WMC) で実行したタスクで、「シナリオ停止」ライブラリが実行された場合、「タスク異常終了」になる問題が確認されています。

代替として例外処理グループを用いてManager on Cloud (WMC) で実行したタスクを正常終了させるサンプルシナリオです。

本サンプルシナリオをご利用のシナリオに組み込むことで、WMCでタスク異常終了させずにシナリオ停止させるシナリオを作成することができます。

サンプルシナリオ概要

目次
はじめに
本サンプルシナリオの概要
使用するWinActorモジュール
本サンプルシナリオの想定レベル
動作確認環境
本サンプルシナリオの使い方
Step 1. サンプルシナリオの読み込み
Step 2. 正常系グループ内に通常シナリオを配置
Step 3. サンプルシナリオの実行
Step 4. サンプルシナリオの終了後の確認
サンプルシナリオ解説
例外を発生させるライブラリと、例外処理グループの設定について
異常系グループについての注意点
変更履歴

はじめに

Manager on Cloud (WMC) で実行したシナリオが「シナリオ停止」ライブラリによって終了した場合、「タスク異常終了」になります。

例外処理グループを用いてManager on Cloud (WMC) で実行したタスクを正常終了させるサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

例外処理グループの正常系グループで例外を発生させます。

異常系グループでは何もせず、そのままシナリオが終了します。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

ノード/フロー/例外処理

ノード/ユーザ/待機ボックス

02_エラー処理/例外を発生させる.ums6

本サンプルシナリオの想定レベル

本ドキュメントは、以下の技術レベルのユーザを対象としています。

Manager on Cloud(WMC)の使い方について理解している。

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で動作確認しています。

Windows 10

WinActor 6.3.0、7.1.0

WMC 3.3 Beta1

本サンプルシナリオの使い方

本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step 1. サンプルシナリオの読み込み

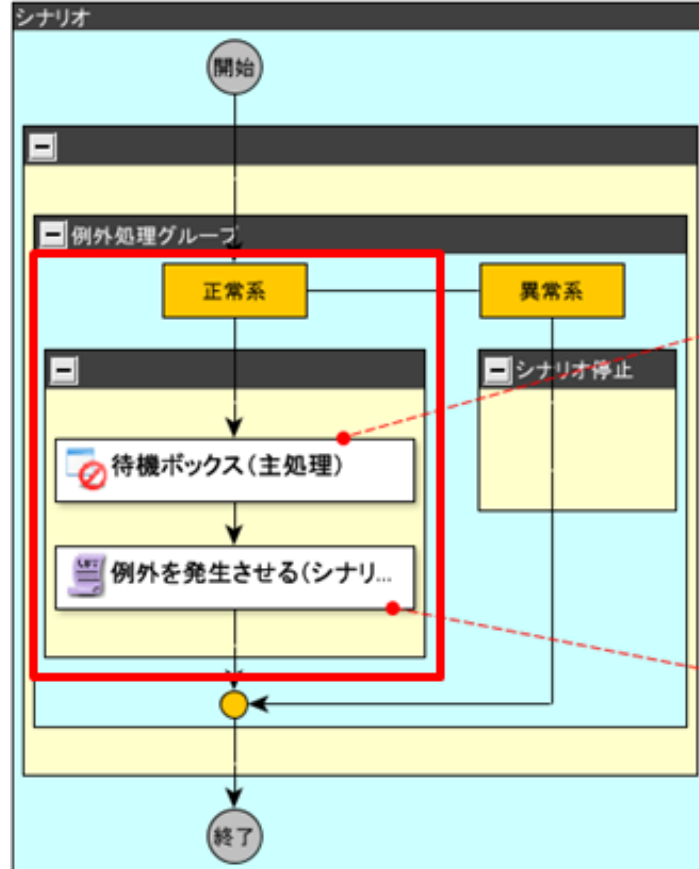
ダウンロードしたサンプルシナリオのZIPファイルを展開し、展開したフォルダに含まれている本サンプルシナリオをWinActorで読み込みます。

Step 2. 正常系グループ内に通常シナリオを配置

通常のシナリオを正常系グループ内に設置してください。

ダミー用の処理として、ここでは「待機ボックスによるメッセージ出力」を行っています。(待機ボックス(主処理))

不要であれば削除してください。



正常系グループの概要

Step 3. サンプルシナリオの実行

WMCのタスクで本サンプルシナリオを実行します。

例外を発生させるライブラリにより異常系グループへ処理が移り、異常系グループでは何もせずシナリオが終了します。

Step 4. サンプルシナリオの終了後の確認

WMCで実行したタスクが正常終了していることを確認してください。

サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて説明します。

例外を発生させるライブラリと、例外処理グループの設定について

ここでは「例外を発生させる」ライブラリの設定と、例外処理グループの設定について解説します。

【1】「例外を発生させる」ライブラリ の設定

「例外を発生させる」ライブラリのパラメータに任意の値を設定します。

本サンプルシナリオの初期設定は「シナリオ停止」としています。

ここで設定した値は【2】でも使用します。

プロパティ - スクリプト実行

名前	例外を発生させる(シナリオ停止)
コメント	

設定 バージョン情報

任意の例外を発生させます。
例外処理グループ内で実行された場合、指定された例外名に対応する
"例外処理"に制御が移ります。

例外名 値⇒ シナリオ停止

OK キャンセル

例外を発生させるライブラリの設定

【2】例外処理グループにの設定

例外名(赤枠内)に【1】で設定した例外名を記入します。

これにより【1】で設定した例外を発生させるライブラリが動作した場合、例外処理グループが設定した例外をキャッチして処理を正常系グループから異常系グループに移します。

【1】と【2】で設定した例外名が一致していない場合は、例外処理がキャッチされず正常に動作しません。

プロパティ - 例外処理グループ

名前	例外処理グループ
コメント	

追加 削除

No	例外名
1	シナリオ停止

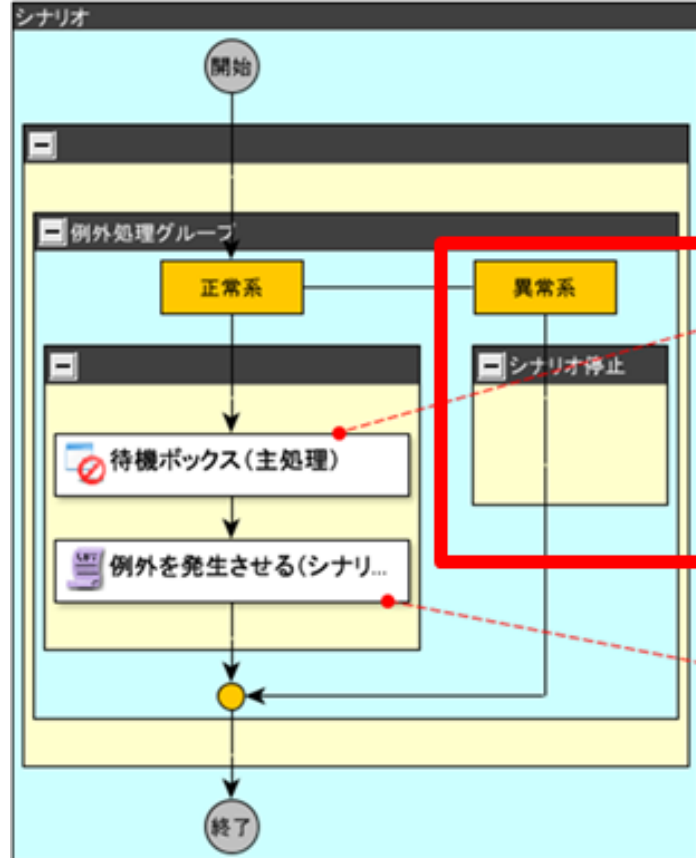
OK キャンセル

例外処理グループの設定

異常系グループについての注意点

「例外を発生させる」ライブラリによって例外を発生させ、例外処理グループがその例外をキャッチすると処理が異常系グループに移ります。(画像赤枠を参照)

動作上の問題はありませんが、「シナリオ停止」ライブラリと同じ挙動を実現させるため、この異常系グループにはノードの配置は行わないようにしてください。



異常系グループの概要

変更履歴

版数
1.0版
日付
2020/10/30
修正内容
初版

版数
1.1版
日付
2024/1/15
修正内容
<ul style="list-style-type: none"> ・注意事項を削除 ・ファイル名を「SS2010_12504_ScenarioStopOperation_ThrowException_1.0.1.zip」に変更

